

パソコンでちょっと

人生を豊かに

先日新聞の人生相談に、40年も勤めた公務員の50歳代の女性がパソコンという「壁」が目の前に立ち上がったという悩み、若い同僚から「そんな事も出来ないの」などと皮肉を言われて落ち込んでいるというものでした。

その相談に答えている作家のアドバイスは、趣味の分野に用いるとか、古典の勉強や情報を得るためなど自分の好きな事に目的を持ってパソコンを使い続けたら如何ですかとありました。(因みにこの作家はパソコンに関心がないそうです。)その時には皮肉も覚悟して、若い人に進んで教えてとか、助けてとお願いしなさいと

これはまさに私がこの清水パソコン教室に通い始めた時と同じです。4年前まで仕事をしていたが、この相談者のように事務所の若い人に原稿を渡すだけで、その数時間後には見事な出来上がり、感心するばかりでした。その時若い人に時間の余裕と勇気を持って教えてもらえば、もっと早くから情報の世界に足を入れていたかもしれないと後悔しています。それに「とけいそう」のスタート時、目的についても先生が提案されたのと全く一緒です。これまで喘ぎ喘ぎの1年余

り、同僚の足を引っ張りながら先生の指導を受けて続けてきました。お陰さまでパソコンの面白さを感じるようになりました。全然できない主人のお願いにもちよつと鼻を高くしています。

これからの目的として、教室1年目卒業作品として作った家族ニュース“うからやから”を例え半年に1度でも定期的に発行して一族郎党の絆を次の世代に残してやろうと思います。投稿したものも写真に写った子ども達も自分が表現されていると大喜びでした。

これからもこの清水コミセンの仲間と新しい友達の輪が続きますならば、またまた喘ぎ喘ぎですが、皆様の後から付いていきたいと思っています。

私の趣味は家庭菜園、旅行、山歩き、水泳、卓球、体操、料理、読書、書道など、**基本は体を動かす事**、マスター状況は広く浅く、何も取柄はなく恥ずかしい次第です。 S・U



眩き

オカリナ、折り紙、寄せ植え、パソコン、農休日と言う会(お年寄りたちが3時間程カラオケやお喋りおやつを食べ楽しんで過ごす時間を提供する場)食事ボランティア、太平洋戦争の戦死者の遺族会等々。忙しく、皆中途半端

オカリナ

1999年10月から初めて10年交流センターで練習を重ねている。今年の12月の内輪会、ソロの曲は長崎の鐘と決めた。難しい運指が何回も有り井も出てくる。スムーズに演奏出来るのは何時の事か。

折り紙

11月と12月で菊の花作り3角の和紙で花びらを折り16枚をボンドでくっ付ける。濃いクリーム色、薄い赤、紫、黄土色、緑濃い葉っぱ次回で出来上がるのだろうか?

寄せ植え

清福寺の花屋さんで教えてもらっている。

パソコン

近頃初級クラスの先生の助手をしている。分からない事を聞かれたらどうしよう。受講者に「先生ここ分かりません。」新米助手も分からない。分からないまま何とかしても出



来ない。先生に見て頂いて出来たとき、ホッとすることも自分自身情けない。反面「その内慣れるか?」自身に言い聞かせる。

一家の主婦

掃除、洗濯、料理、収納、親戚付き合ひ、何もかも苦手、料理。「品作ったら、後が続かない、疲れてしんどくて、「どっこいしょ」って椅子に座ってしまふ。スーパーで買ってきた分を冷蔵庫へ入れてしまふ。もう料理が出来なくなる。する気がなくなる。お肉や野菜、魚が賞味期限ぎりぎりになったら2品でも3品でもできる。消化してしまわなければ勿体無い。人間やる気になれば料理もできる。

E・H

編集後記

VG視輪の協力を得て“とけいそう”グループが昨年10月から立ち上がりました。清水コミセン初級教室のあとの中級に引き続き、もっとパソコンを触っていたいというメンバーがやっています。なんとか先生方の忍耐強いご指導でこの機関誌を出すところまで漕ぎつけた次第です。第一号なので自己紹介の特集です。お仲間は親近感が生まれ、このままぬるま湯に浸かっていたいような気持ちです。こんな私たちとごいっしょしてくださる仲間がもっと増えればと願います。これからもよろしくお付き合い下さい。